

参考人候補者

駒林 良則（こまばやし よしのり）

現職

立命館大学法学部特任教授

博士（法学、大阪市立大学）

略歴

1955年大阪府生まれ。

大阪市立大学大学院法学研究科公法学専攻修士課程修了

修了後大阪府庁入庁（1980～1985年）

1985年4月名城大学法学部専任講師

同助教授、教授をへて

2009年4月より立命館大学法学部教授

2021年3月末 同定年退職

2021年4月より 同特任教授

議会事務局研究会（<https://sites.google.com/site/gikaijimu/home>）代表

大津市議会アドバイザー、立川市議会アドバイザー

専門分野

行政法、特に地方自治法

主要な公職関係（現在） 滋賀県公有財産審議会委員（会長）、同県行政不服審査会委員（会長）、同県国土利用計画審議会委員、長浜市情報公開個人情報保護審査会委員（会長）、草津市指定管理者選定委員会委員、丹波市議会議員政治倫理審査会委員

業績関係

主著（単著）

『地方議会の法構造』（成文堂、2006年）

『地方自治組織法制の変容と地方議会』（法律文化社、2021年）

主編著

『地方自治法入門 第3版』（成文堂、2024年）

最近の主な著書・論文等（議会関係のみ）

- ・「議員の位置づけの明文化とその先にあるもの」月刊地方議会人 2023年3月号
- ・「議員政治倫理条例の検討」立命館法学 408号（2023年7月）
- ・「現在の地方議会に関する論議について」立命館法学 414号（2024年8月）
- ・「判例評釈 当選無効議員の議員報酬等に対する不当利得返還請求」民商法雑誌 160巻5号（2024年12月）
- ・「地方議会の活性化」行政法研究 60号（2025年4月）
- ・「地方議会の自律権に関する一考察」立命館法学 420・421合併号（2025年12月）

最近の主な活動（議会関係）

2022年4月 全国都道府県議会議長会事務局職員研修での講演「地方議会における議会事務局の役割」

2023年4月（～11月） 尼崎市議会政治倫理審査会委員

2024年7月（～11月） 松阪市議会議員定数等の在り方調査会委員

2024年5月（～25年3月19日）浜松市議会議員定数調査会委員（座長）→「議員定数等の在り方に関する調査報告書」への関与

2025年1月 山梨県議会議員研修会での講演

2025年4月 東京都議会政治倫理条例検討委員会の参考人としての意見聴取（「議員政治倫理条例について」）

その他、各地の議員研修会や事務局職員研修の講師、議会審議会等の委員を務める